

平成29年を迎えて

謹賀新年

明けましておめでとうございます。
新春を寿ぎ 皆々様のご健康とご多幸を
心からお祈り申し上げます。

平成29年元旦

年頭所感

社会福祉法人制度は、昭和26年「社会福祉事業法」の制定をもってスタートしており、その後、大きな変更はありませんでしたが、昨年3月、その改正が行なわれました。

それに伴い、現在、「定款」「理事会」「評議員会」の位置づけの改正、「会計監査人」の設置検討、地域や利用者様のご意見を伺う「運営協議会」の設置等など、多くの作業を進めております。

札幌報恩会（札幌報恩学園）は、大正7年、法律ができる前にスタートしており、創設者である小池九一先生の「こころいき」を伺い知ることができます。本年は、創立99周年を迎えることとなり、制度改革への対応とともに、新たなる展開への備え、力の蓄積が必要と考えております。

「幌西ほうおん」の設立

新たな事業所として、4月1日の開所を目指し、建設工事並びに開所準備を進めております。札幌報恩学園が誕生した由緒ある土地柄でもあり、地域の皆様の期待感もひしひしと感じております。

スマートシティ・コンパクトシティが叫ばれる中で、障がいのある方も介護を必要とされる方も、ご家族を含め、その地域の中で、健やかに生活できること、それは、先人の「こころざし」の一つの実現でもあると思っております。微力ではありますが、先ずは、着実に軌道に乗せてゆきたいと思っております。



社会福祉法人 札幌報恩会
理事長 山下 太郎



「ホームページ」のリニューアル

社会福祉法人の「こころざし」、「仕事の内容」、「経営の内容」など、幅広く開示することによって、ご理解と、ご利用・ご支援を賜ることができるものと思っております。

「札幌報恩会」でご検索いただくと、ホームページに到達できます。事務方の努力のもと、リニューアルを果たすことができました。

「幌西ほうおん」についても、その概要を知ることができます。もちろん、各施設・サービスの内容も知ることができ、求人の情報も知ることができます。多面的なご利用・ご活用をいただきたく、ご紹介させていただきました。

ステークホルダーの皆様へ

利用者の皆さま、親御さん、地域の皆さま、お役所の皆さま、業界の皆さま、役職員の皆さま、同窓生・職員OBの皆さま、ご支援くださっている皆さま、多くの皆さまのお力によって、おかげさまで、法人の運営は順調に進められており、心から厚く御礼申し上げます、新年のご挨拶と致します。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

